



協同活動と
総合事業の
好循環

第2代 産業組合中央会会頭
志村 源太郎 (『家の光』の生みの親)

JA組織基盤強化のために
家の光協会は
JA教育文化活動を支援します

共同心の泉

志村源太郎

力の弱い一人一人が、とても出来ない仕事でも、二人が一人となりて、しつくり組合へば、案外たやすく成し遂げられる。故にわれ等の理想は、同心協力の精神であり、共存同榮の社會である。

産業組合は此の理想を日常生活に實現せんとするものであるから、之に最も大切なものは組合員の共同精神である。この共同精神を養ふところは、實に組合員の家庭そのものである。親も子も、夫も妻も、老も若きも、互に理解し、互に勵まし、互に慰め、心から協力和合し、一家を擧げて一様に愉快で幸福な家庭に於て、はじめて眞の共同精神が養はれる。家庭は即ち共同心の泉であつて、組合員の力強い共同精神は常に健全なる家庭から流れ出る。其の清い精神を汲み取つて産業組合を培養すれば、必ずや、美しい花が咲き、實がなるのである。

本誌の目的は、この共同心の泉を家庭に於て涵養せんとするに存する。

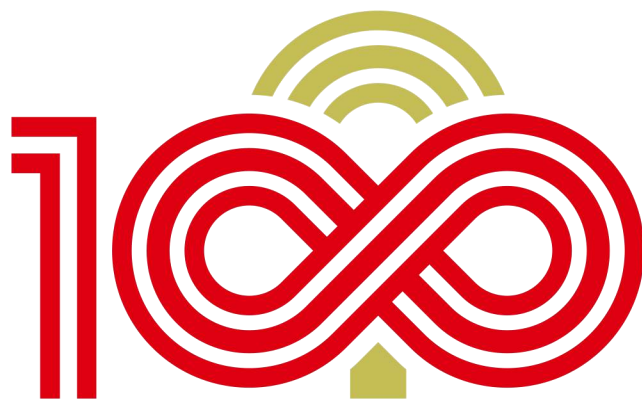
『家の光』創刊号(大正十四年五月号)より



『家の光』創刊号
— Since 1925 —

力の弱い一人一人でも、助け合い支え合えば、困難を乗り越えられます。
組合員の協同の心こそが、JAの組織基盤

その精神を今も引き継ぎ、2025年5月号で
『家の光』は創刊100周年を迎えます



『家の光』創刊100周年